

資料 1

新秋地総第1351号
令和2年11月20日

秋葉区自治協議会
会長 金子 洋二 様

新潟市長 中原 八一
(担当 秋葉区役所地域総務課)

秋葉区の特色ある区づくり予算に係る事業の企画立案について（意見聴取）

新潟市区自治協議会条例（平成18年条例第74号）第7条第3項第3号の規定により、下記事項について貴自治協議会の意見を求めます。

記

- 1 令和3年度 秋葉区の特色ある区づくり予算に係る事業の企画立案について

令和 3 年度 秋葉区 「特色ある区づくり予算」 一覧

区ビジョン					事業目的
番号	事業名	事業期間	担当課	予算額	
うるおいとやすらぎのあるまち					
1	優歩道歩いてみ隊				自然散策や健康づくりに利用され、多くの区民から親しまれている新津川や能代川沿いの遊歩道、秋葉公園をより使いやすくし魅力向上を図るとともに、区民協働による環境保全に取り組む。
	継続	2～4	建設課	2,500	
楽しく元気なまちなかとやさしさのあるまち					
2	アキハで認知症サポートネット				区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめ、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指す。
	継続	2～4	健康福祉課	650	
3	「つながる」「つなげる」障がい者支援				障がい者理解を広げてつながることを目的とし、支援システムづくりを行う。
	継続	1～3	健康福祉課	690	
4	地域ぐるみでフレイル予防				心身の加齢変化が大きくなる高齢期に、フレイル(適切な対応をすれば回復可能な虚弱な状態)を予防し、健康寿命の延伸を図るため、身近な地域で住民が支え合いながら予防活動を継続できるよう支援する。
	継続	1～3	健康福祉課	900	
5	アキハで子育てサポート事業				地域で安心して子育てできるよう、様々な育児に関連する事業を実施し、不安感を軽減するようサポートする。
	継続	1～3	健康福祉課	4,550	
歴史と個性を活かすまち					
6	秋葉「鉄道物語」				新津の鉄道に関する施設、歴史、人材などの地域資源(宝)を、商店街、地域住民、子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育みながら、まちなか活性化と交流人口の増加を図る。
	リニューアル	3～5	産業振興課	3,370	
7	文化遺産情報発信事業				秋葉区の歴史や文化遺産に対する市民の理解を深めるため、区内の文化遺産の情報を区内外へ発信する。また、秋葉区のさらなる活性化にもつながるよう、それらの魅力を活用する。
	継続	2～4	地域総務課	1,000	
8	アキハの宝子ども探検ツアー				秋葉区独自の宝(個性)を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。
	継続	2～4	新津地区公民館 地域総務課	350	
9	アキハスムプロジェクト Vol.2				地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特性・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。
	継続	1～3	地域総務課	2,700	

区ビジョン					事業目的
番号	事業名	事業期間	担当課	予算額	
花のまち・食のまち・育てるまち					
10	花が迎えるまちづくり事業	R403号フラワーロードを美しい季節の花・宿根草等で彩り、緑を大切に作る心を育むとともに、「花のまち」秋葉区を区内外に広くアピールする。			
	継続	1～3	地域総務課	1,500	
11	アキハ花一番PR事業	秋葉区産鉢花の安定流通に向けた社会実験。また、新津駅や新津本町・小須戸商店街を鉢花で装飾することで、まちなかの美観を高め、交流人口の増加を図る。			
	継続	1～3	産業振興課	3,670	
12	稲架木で地域農業活性化推進事業	満願寺稲架木並木の下で昔ながらの米づくりを体験する機会を設け、ご飯を食べた時に満願寺の稲架木にかかった稲が思い浮かぶぐらいに、農業や食べ物への関心を高め、将来に渡って秋葉区に愛着を持って、農業者を応援したくなるきっかけをつくることで、地域農業の活性化を図る。			
	継続	1～3	産業振興課	700	
生み出し活かすまち					
13	アキハもち麦推進事業	機能性に注目が集まる「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、販売・消費拡大等に必要な支援を行う。			
	継続	2～4	産業振興課	1,350	
14	社会起業家発掘・養成事業	秋葉区の地域資源を生かして起業する人材を育て、魅力的なビジネスを区内に生み出すと共に、「起業するなら秋葉区で」というメッセージを内外に発信する。			
	継続	1～3	産業振興課	500	

予算額合計 24,430 千円 令和2年度予算額 24,380千円

1	事業名	[継続] 優歩道歩いてみ隊	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	うるおい と やすらぎ のある まち		
事業目的	自然散策や健康づくりに等に利用され、多くの区民から親しまれている新津川や能代川沿いの遊歩道、秋葉公園をより使いやすくし魅力向上を図るとともに、区民協働による環境保全に取り組む。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 年1回 区民の参加を募り、区民と協働により、ゴミ拾いや除草作業を行う。 ・新津川や能代川沿いの遊歩道除草作業のため地域活動団体へ草刈機の貸し出し ・遊歩道の環境整備 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
最終 成果指標 目標	クリーン作戦・遊歩道環境整備等の区民参加者数 1200人		
R2 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R2 年度 〈1年目〉 9月末 実施状況	地域活動団体への草刈機の貸し出し 90人 新津川遊歩道クリーン作戦準備 11月8日実施予定		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 千円
R3 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 千円
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	7,500 千円	決算合計 0 千円

2	事業名	[継続] アキハで認知症サポートネット	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち		
事業目的	区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめ、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指す。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①区民対象の「認知症講演会」の開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座の開催 ③関係機関との認知症に関する会議の開催 ④キャラバンメイトの交流会を開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回開催 ③関係機関との認知症に関する会議 1回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R2 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回開催 ③関係機関との認知症に関する会議 1回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R2 年度 <1年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会は、インターネット経由での配信を準備中 ②開催するかどうか協議中。 ③認知症をキーワードにした会議を実施し、関係機関との情報共有、地域課題の掘り起こしを行った。 ④開催するかどうか協議中。 ⑤認知症カフェを9月から再開した。 		
事業費	予算額	550 千円	決算額 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
事業費	予算額	650 千円	決算額 千円
R4 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
事業費	予算額	650 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,850 千円	決算合計 0 千円

3	事業名	[継続] 「つながる」「つなげる」障がい者支援	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち		
事業目的	○障がい者理解を広げてつながることを目的とし、支援システムづくりを行う。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイルの作成・配付 発達に支援の必要な子どもに関わる医療・保健・福祉・教育・労働などの各機関が保護者とともに必要な情報を共有するための「つながる支援ファイル」を作成・配付し、活用を図る。 ・保護者支援講座の開催 療育教室「なのはな」や経過観察事業「ポッポあそびのへや」を利用している子どもの保護者を対象にNPプログラム講座を開催し、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進することで不安感や孤立感の解消を図る。 ・授産品販売の支援 障がい者施設で生産している授産製品の販売・周知方法等の検討を行い、区民の障がいに対する理解を促進すると共にショップ及び商品の周知を図る。 授産ショップ『Korette』（コレッテ） 新津地域交流センター 1F ショップ運営は「秋葉区障がい施設連絡協議会」が担っている。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・コレッテ 	利用者（配付）数 120人 6回コースの講座を実施 販売商品の種類増、売り上げ増	
R1 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・コレッテ 	利用者（配付）数 30人 6回コースの講座を実施 既存商品の販売・周知支援	
R1 年度 〈1年目〉 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座（NPプログラム講座） ・コレッテ 	利用者（配付）数 87人 療育教室等に通う1~2歳児の保護者を対象に6回コースで実施 期間 11月8日~12月13日 参加人数 5人 ショップPRシールの増刷、販売関連消耗品の提供	
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル つながる支援セミナー等の機会に小中学校を含め関係者にファイルの活用方法の周知を継続して行い、障がいサービスの相談時等に新規対象者へ配付し、活用状況を把握する。 ・保護者支援講座 参加者が5人の場合1グループ構成となりプログラムの内容が深めにくいため、6人以上で2グループ以上構成可能な人数の参加を促す。 ・コレッテ 販売商品の種類が少ないため、種類を増やす取り組み（新商品の開発、共同販売ネットワーク「きらり」の商品を基に付加価値を高めた商品の製作等）が必要。 		
事業費	予算額	650 千円	決算額 583 千円

次ページへ続く

3	事業名	[継続] 「つながる」「つなげる」障がい者支援	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
R2 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・コレッテ 	利用者（配付）数 100人 6回コースの講座を実施 新商品の試作を実施	
R2 年度 <2年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座（NPプログラム講座） ・コレッテ 	利用者（配付）数 111人 ※12月開催予定のつながる支援セミナーで、小・中学校を含め関係者にファイルの活用方法を周知 令和3年1月13日～2月17日（毎週水曜 全6回） （※コロナ禍により日程変更。当初開催予定は10～11月） 新商品の試作案を計画	
事業費	予算額	800 千円	決算額 千円
R3 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・コレッテ 	利用者（配付）数 150人 6回コースの講座を実施 販売商品の種類増、売り上げ増	
事業費	予算額	690 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	2,140 千円	決算合計 583 千円

4	事業名	[継続] 地域ぐるみでフレイル予防	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち		
事業目的	心身の加齢変化が大きくなる高齢期に、フレイル（適切な対応をすれば健康な状態に戻れる虚弱な状態）を予防し、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。身近な地域で体力、口腔機能等の衰えを先送りするための啓発を行ない、住民が支え合いながらフレイル予防活動を継続できるよう支援する。		
事業概要	<p>(1) フレイル予防教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進課事業のフレイルチェック実施後に、口腔ケア、低栄養をテーマにした2回コースの教室を2か所で実施する。 ・令和2年度の実施地区も含め、地域で予防の取り組みが継続できるよう支援する。 <p>(2) 各地域でのフレイル予防の普及啓発、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主催のイベント等で、フレイル予防の普及啓発活動を行う。 ・現在サロン等で実施しているロコモ予防運動が継続してできるよう支援 <p>(3) ラジオ体操普及のためのスタート支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でラジオ体操が継続できるよう、ラジオ体操講習会を行う。 <p>(4) ロコモ予防運動普及サポーターのフォロー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター及びPPK48の活動支援及び認知症サポーターの資質向上を図るため、研修会を実施 <p>*新潟医療福祉大学に事業の一部を委託する。</p>		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1700人 (内、フレイル予防教室の参加者数150人、教室以外の普及啓発参加者数1550人) ・フレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 58団体 		
R1 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業への参加者数 600人 ・フレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 53団体 		
R1 年度 <1年目> 実施状況	<p>(1) フレイル予防教室（3回コース）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金津コミ協 延51人参加、新津中央コミ協 延71人参加 <p>(2) 各地域でのフレイル予防の普及啓発、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師、理学療法士等により普及活動の実施62回、1538人 ・フレイル予防事業全体への参加者数 1660人参加 ・フレイル予防の取組団体数 54団体（うち新規5団体） <p>(3) ラジオ体操普及のためのスタート支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西古津自治会 7/15 36人参加 ・中央コミ協主催ラジオ体操会 12/13 30人参加、月～金 毎回15～20人参加 <p>(4) ロコモ予防運動普及サポーターのフォロー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・47人参加 ・PPK48の活動拡大のため、PPK体操第2を制作 		
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進課事業のフレイルチェックで動機づけを行い、引き続きフレイル予防教室を実施する。その後、身近な地域でフレイル予防活動を継続できるよう支援する。 ・ロコモ予防運動に取り組み団体数の伸び悩みがあるため、コミ協等とともに継続可能な実施方法を検討する。 		
事業費	予算額	1,084 千円	決算額 789 千円

次ページへ続く

4	事業名	[継続] 地域ぐるみでフレイル予防	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
R2 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業への参加者数 1700人 (令和1年度 1660人) ・ラジオ体操講習会の参加者数 100人 ・フレイル予防 (ロコモ予防運動, ラジオ体操などの介護予防活動) の取組団体数 56団体 		
R2 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	<p>(1) フレイル予防教室の実施 第五中学校区 21人参加、小合コミ協 32人参加</p> <p>(2) 各地域でのフレイル予防の普及啓発、支援 ・保健師、理学療法士などにより普及活動の実施12回、170人 4~6月までコロナウイルス感染予防対策で地域のお茶の間の開催を休止していた会が多かったため、普及活動ができず実施回数が減少した。 ・フレイル予防の取組団体数 55団体 (うち新規1団体)</p> <p>(3) ロコモ予防運動普及サポーターのフォロー研修 34人参加</p>		
事業費	予算額	970 千円	決算額 千円
R3 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1700人 ・ラジオ体操講習会の参加者数 100人 ・フレイル予防 (ロコモ予防運動, ラジオ体操などの介護予防活動) の取組団体数 58団体 		
	予算額	900 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	2,954 千円	決算合計 789 千円

5	事業名	[継続] アキハで子育てサポート事業
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度	
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち	
事業目的	各種子育て支援の事業を実施することで、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン「小さな森の広場」（出張型親子の居場所、区内6か所） ②NPプログラム（ノーバディズパーフェクトプログラム） ③パパママブチ講座（小児科医、助産師、健康運動指導士などの専門家への子育て相談会） ④乳児を対象にした事業（予定） ※①～④NP0法人等に委託して実施予定 ⑤1歳のお誕生相談会 ⑥子育てサポーター派遣事業 ⑦2人目の子育て支援（BP2） 	
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内中学校区6地区開催予定 ②NPプログラム 3クール開催予定 ③パパママブチ講座 年6回開催予定 	
R1 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 138回開催 ②NPプログラム 3クール開催予定 ③中学生の乳幼児ふれあい体験 4回開催 ④子育てサロン 年6回開催 ⑤ベビママセミナー 年8回開催 ⑥父親対象イベント 1回開催 ⑦再就職支援セミナー 1回開催 ⑧1歳のお誕生相談会 年12回開催 	
R1 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内6カ所で子育てサロンを開設 77回開催 利用者607人 ②NPプログラム（ノーバディズパーフェクトプログラム 6回1クール） 3クール開催 参加者 延べ164人 ③中学生の乳幼児ふれあい体験 金津中学校の総合学習で実施 4回実施 中学生68人 参加親子25人 ④子育てサロン（小児科医、助産師、健康運動指導士などの専門家への子育て相談会） 8回開催 参加者 延べ148組 ⑤ベビママセミナー（生後2か月から5か月の第1子とその保護者を対象） 7クール開催 参加親子77組 ⑥遊ぶ・学ぶパパと一緒に 6回開催 参加者 延べ48組 ⑦再就職支援セミナー 中止 ⑧1歳のお誕生相談会 1歳誕生歯科健診時に子育て相談を実施（毎月実施）参加者 113人 	
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	<p>新たな取り組みとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てサポーターを養成し、母子保健事業と連動して、出産直後からの母子を支援する体制を作る。子育てサポーターは、出張型の親子の居場所である子育てサロンに参加するなど、地域ごとに核となる人材として活動できるよう育成する。 ○第2子の出産により2人の子育てに悩んでいる母の相談が増えている。（上の子がかわいくないなど）課題解決として第2子出産後の母向けの講座（BP2）を2クール開催する。 	
事業費	予算額	4,300 千円
	決算額	千円

次ページへ続く

5	事業名	[継続] アキハで子育てサポート事業	
事業期間		令和 1 年度 ~ 令和 3 年度	
R2 年度 <2年目> 成果指標 目標	①子育てサロン 区内6カ所で子育てサロンを開設 ②NPプログラム 3クール開催 ③中学生の乳幼児ふれあい体験 金津中学校で実施 ④パパママプチ講座 6回開催 ⑤ベビママセミナー 4回開催 ⑥再就職セミナー 1回開催		
R2 年度 <2年目> 9月末 実施状況	①子育てサロン 28回 ②NPプログラム 1クール開催 ③中学生の乳幼児ふれあい体験 中止 ④パパママプチ講座 3回 ⑤ベビママセミナー 3回 ※新型コロナ感染拡大防止のため 臨時休館などにより日程を変更して 実施している。		
事業費	予算額	4,550 千円	決算額 千円
R3 年度 <3年目> 成果指標 目標	①子育てサロン 区内6カ所で子育てサロンを開設 ②NPプログラム 3クール開催 ③パパママプチ講座 6回開催		
事業費	予算額	4,550 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	13,400 千円	決算合計 0 千円

6	事業名	[リニューアル] 秋葉「鉄道物語」	
事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	<p>これまでに培った新津の鉄道に関する施設、歴史、人材などの地域資源を、商店街、地域住民、子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、「鉄道」を基軸に街づくりに取り組む地域との連携を図り、さらなるまちなか活性化と交流人口の増加を図る。その交流の結節点でもある秋葉区の玄関口、JR新津駅を訪れた方々に秋葉区の情報をお届けながら再訪の縁を探る。区内の情報発信・観光案内に携わる企業体の現出を図る。</p>		
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 「にいつ鉄道商店街」（商店街への誘客、交流人口拡大） 2 JR東日本（株）との共催事業（SL出発式など） 3 阿賀・会津等との観光連携（東北DC対応など） 4 あ！キハ観光案内所運營業務 		
最終 成果指標 目標	鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街 300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人		
R3 年度 ＜1年目＞ 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人		
R3 年度 ＜1年目＞ 実施予定内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 「にいつ鉄道商店街」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「SLばんえつ物語」号の展望車イベントを鉄道商店街実行委員会が実施 ・「鉄道資料館周年祭」に商店街が出店 2 東日本旅客鉄道株式会社との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「SLばんえつ物語」号のホームで新津商店連が鉄道グッズを販売 ・「TRAIN SUITE 四季島」を新津駅でお出迎え ・JR新潟支社が展開する「にいつ鉄道ぶらぶら街あるき事業」に鉄道商店街とともに共催 3. 阿賀・会津等との観光連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「銘酒と名湯ごっつおまつり（阿賀野川ライン協：広域連携）」及び「花と遺跡の秋まつり」でのシャトルバス手配 4. あ！キハ観光案内所運營業務 案内所開設にかかる運営経費（賃借料等） ※観光案内所の運営については令和4年度で終了予定。 		
	予算額	3,370 千円	決算額 千円
R4 年度 ＜2年目＞ 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人		
	予算額	3,370 千円	決算額 千円
R5 年度 ＜3年目＞ 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人）		
事業費	予算額	1,250 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	7,990 千円	決算合計 0 千円

7	事業名	[継続] 文化遺産情報発信事業	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区の歴史や文化遺産に対する市民の理解を深めるため、区内の文化遺産の情報を区内外へ発信する。また、秋葉区のさらなる活性化にもつながるよう、それらの魅力を活用する。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 既存「秋葉区文化財マップ」を基に、より入門的な内容のリーフレットとなるよう市民参加のワークショップを開催し、その成果を踏まえて新規リーフレットを作成・配布 ② 既存「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷・配布 ③ 史跡「新津油田金津鉱場跡」案内リーフレットの新規作成・配布 ④ 石油の里公園の案内板に史跡表記を追加 ⑤ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 ⑥ ①・③を活用した見学イベントの開催 		
最終 成果指標 目標	見学イベント参加者数 100人以上		
R2 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡「新津油田金津鉱場跡」案内リーフレットの新規作成・配布 ・ 既存「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷・配布 ・ 石油の里公園の案内板に史跡表記を追加 ・ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 		
R2 年度 〈1年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元要望を受け、史跡「煮坪」の案内板を改修した。 ・ 10月24日に予定される石油の世界館リニューアル式典に間に合うよう、史跡「新津油田金津鉱場跡」案内リーフレットの作成を進め、石油の里公園の案内板に史跡表記を追加するステッカー作成を準備した。 ・ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新を進めた。 		
事業費	予算額	520 千円	決算額 千円
R3 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存「秋葉区文化財マップ」を基に、より入門的な内容のリーフレットとなるよう市民参加のワークショップを開催 ・ 既存マップ等の増刷・配布 ・ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 		
事業費	予算額	1,000 千円	決算額 千円
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ワークショップの成果を踏まえた新規リーフレットの作成・配布 ・ 既存マップ等の増刷・配布 ・ これまでの成果物を活用した見学イベントの開催 ・ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 		
事業費	予算額	1,000 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	2,520 千円	決算合計 0 千円

8	事業名	[継続] アキハの宝子ども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。		
事業概要	<p>◆対象 小学生を対象</p> <p>◆内容</p> <p>「チャレンジ！あきは体験隊」 ※地域と連携して歴史や文化を体験 各地区の施設見学、まち歩き体験など</p> <p>「あきはっ子里山体験隊」 ※里山を舞台に自然・歴史・文化を体験 自然観察、古代生活体験、産業遺産の見学など</p> <p>「秋葉教育懇談会」 区内教育関係者等を対象にして区の個性を活かした子どもの教育環境について外部講師を交え、意見交換を行う。</p>		
最終 成果指標	<p>◆達成指標 2 講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R2 年度 〈1 年目〉 成果指標	<p>◆達成指標 2 講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R2 年度 〈1 年目〉 9 月末 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/10（土）9:30～12:00 ・新津駅構内と新津本町のまち歩きを実施 ・参加者 小学4～6年生 7名 （ほかにガイド3名、スタッフ等5人） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/24（土）9:30～12:00 ・弥生の丘展示館でまが玉づくりと火おこし体験 ・参加者 小学4～6年生 16名 （ほかにスタッフ等9人） <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/1（火）14:00～16:00 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 千円
R3 年度 〈2 年目〉 成果指標	<p>◆達成指標 2 講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
事業費	予算額	350 千円	決算額 千円
R4 年度 〈3 年目〉 成果指標	<p>◆達成指標 2 講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
事業費	予算額	350 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1050 千円	決算合計 0 千円

9	事業名	[継続] アキハスムプロジェクトVol. 2	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特性・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ブランド発信 特設WEBサイトの運営・更新, SNSフォトコンテスト, JR新津駅東西自由通路への大型バナー設置, 新津駅前商店街へのフラッグ管理 ○人財育成 「Akihaきらきらプロジェクト」運営, チーム活動支援 ○移住モデル地区支援 秋葉区移住体験ツアー, 地域提案型UIJ促進事業 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 つ以上のまちづくり企画を実施 ・ 3 地区の移住モデル地区を支援 		
R1 年度 <1 年目> 成果指標 目標	<p>引き続き秋葉区の魅力や特長を統一したイメージで発信していく。人材育成は、チーム活動について本事業予算に頼らない、補助金や協賛金等の活用を促し自立運営方法を検討する。移住体験ツアーは、区役所のみで実施するのではなく、地域で受入ができるような仕組みづくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民のまちづくりへの関心向上, シビックプライドの醸成 ・ 区民主体による発信, 活動 ・ 地域主体による移住・定住のための仕組み構築 		
R1 年度 <1 年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSフォトコンテストチラシ作成・募集開始 ○大型バナー掲出 【新津駅東西自由通路】 ・ AKIHAsumuプロジェクト6種類 ・ 新津美術館：年間予定表 ・ 吉田千秋2種類 ・ にいつハロウィン仮装まつり ・ にいつナイトステーション ・ 秋葉区文化会館：会館案内 【秋葉区文化会館】 ・ AKIHAsumuプロジェクト6種類 ○人財育成に係る企画・コーディネート, チーム運営商店街と連携し, Akiha女子の生活モデルとして「まち暮らしマップ」を作成した ○商店街フラッグ「AKIHAsumuプロジェクト」を掲出 ○秋葉区移住体験ツアーチラシ作成・募集実施 		
2 年目に向け 課題と解決に 向けた取組	R1 年度の達成率 30% (見込) より効果的な発信を行うため、移住者やツアー参加者、フォトコンテスト入賞者等への聞き取り等実施を検討する。		
事業費	予算額	2,707 千円	決算額 千円

次ページへ続く

9	事業名	[継続] アキハスムプロジェクトVol. 2	
事業期間		令和 1 年度 ~ 令和 3 年度	
R2 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<p>引き続き秋葉区の魅力や特長を統一したイメージで発信していく。人材育成は、チーム活動について本事業予算に頼らない、補助金や協賛金等の活用を促し自立運営方法を検討する。移住体験ツアーは、区役所のみで実施するのではなく、地域で受入ができるような仕組みづくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民のまちづくりへの関心向上、シビックプライドの醸成 ・区民主体による発信、活動 ・地域主体による移住・定住のための仕組み構築 		
R2 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○大型バナー掲出 ○商店街フラッグ「AKIHAsumuプロジェクト」を掲出 ○当初、移住者体験ツアーの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して中止とした 		
事業費	予算額	2,700 千円	決算額 千円
R3 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<p>秋葉区の魅力や特長を統一したイメージで発信していく。人材育成は、チーム活動について本事業予算に頼らない、補助金や協賛金等の活用を促し自立運営方法を検討する。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、移住体験ツアーの実施に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民のまちづくりへの関心向上、シビックプライドの醸成 ・区民主体による発信、活動 ・地域主体による移住・定住のための仕組み構築 		
事業費	予算額	2,700 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	8,107 千円	決算合計 0 千円

10	事業名	[継続] 花が迎えるまちづくり事業	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
区ビジョン	花のまち・食のまち・育てるまち		
事業目的	R403号フラワーロードを美しい季節の花や宿根草等で彩り、緑を大切に作る心を育むとともに、「花のまち」秋葉区を区内外に広くアピールする。		
事業概要	R403号新津南バイパス沿いのフラワーロードの管理 ・ポット苗、球根の植付けによるスイセン（春）、タチアオイ（夏）、ヒガンバナ（秋）の育成・管理の試行（複数年をかけて植付け・育成を実施） ・上記植付けイベントの開催 ・除草等作業の実施（委託及び区職員）		
最終 成果指標 目標	1 R403号新津南バイパスを宿根草等で彩り、「花のまち」秋葉区をアピールする。 2 宿根草等が翌年以降開花できるよう、根付きの実現を目指す。		
R1 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	1 R403号新津南バイパスを菜の花で彩り、「花のまち」秋葉区をアピールするためスイセン（春）、タチアオイ（夏）、ヒガンバナ（秋）の植付を行った。 2 宿根草本が翌年以降開花できるよう、維持管理を行い根付きの実現を目指す。		
R1 年度 〈1年目〉 実施状況	1 フラワーロードの維持管理 ・区職員及び委託による耕起、施肥、播種、除草作業等の実施 2 ポット苗、球根の植付けによるスイセン（春）、タチアオイ（夏）、ヒガンバナ（秋）の育成・管理に向けた準備作業を実施した。		
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	R1年度の達成率 30%（見込） 最終的な植付け範囲（延長）について検討を実施		
事業費	予算額	1,848 千円	決算額 1,052 千円
R2 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	1 R403号新津南バイパスを菜の花で彩り、「花のまち」秋葉区をアピールする。 2 宿根草本が翌年以降開花できるよう、根付きの実現を目指す。		
R2 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	フラワーロードの維持管理 ・区職員による除草作業等の実施		
事業費	予算額	1,500 千円	決算額 千円
R3 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	1、フラワーロードの維持管理 ・区職員及び委託による耕起、施肥、播種、除草作業等の実施 2、スイセン（春）、タチアオイ（夏）、ヒガンバナ（秋）のポット苗、球根の植付けによる育成・管理に向けた準備作業を実施予定。		
事業費	予算額	1,500 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	4,848 千円	決算合計 1,052 千円

11	事業名	[継続] アキハ花一番PR事業		
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度			
区ビジョン	花のまち・食のまち・育てるまち			
事業目的	秋葉区産鉢花の安定流通に向けた社会実験及び鉢花宣伝PR			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋葉区産鉢花の安定流通に向けた社会実験 ・ 新日本海フェリーアザレア号にアザレアを展示しPRを行う。 ・ 卒園・入園式で秋葉区産の鉢花を展示しPRを行う。 ・ 新潟県花木振興協議会と連携してPRを行う。 			
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること 			
R1 年度 <1年目> 成果指標 目標	<p>《目標1》秋葉区内花き・花木直売施設への来場者数：前年度比+5% 《成果》昨年度の比較：前年度比 -10.5% (コロナ対策での時短営業、植物園改修閉園)</p> <p>《目標2》新津本町の商店街の歩行者数：前年度比-0% 《成果》未達成：前年度比-12%</p> <p>《目標3》小須戸本町の商店街の歩行者数：前年度比-0% 《成果》未達成：前年度比-9%</p>			
R1 年度 <1年目> 実施状況	<p>①四季島の停車に合わせた鉢花展示と切花プレゼント(全17回) ②県花木協と連携した事業として「新潟県花き出荷組合市場見本市」を開催(8月28日) ③新潟県花き出荷組合と連携した事業として「ニイガタポットプランツ2019鴻巣市場」を開催(10月7日) ④新日本海フェリー「あざれあ号」でのアザレア展示(10月23日~12月2日) ⑤「まちなかガーデニング」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新津本町、小須戸本町商店街に花苗を配布し、プランターに設置されている。(4月) ・ 新津駅の東口広場にプランターを設置中(4月~) ・ 新津駅の東西通路にプランターを設置(4月~5月上旬)(12月から再開の予定) 			
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方市場への鉢花出荷についての輸送費の平準化を図り、需給調整機能が果たせるか検証 			
事業費	予算額	3,670 千円	決算額	3,642 千円
R2 年度 <2年目> 成果指標 目標	<p>予算組替「鉢花流通安定化社会実験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること 			
R2 年度 <2年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナによる外出自粛による販売不振により、4月出荷においては昨年度対比で大幅な出荷量の減少がみられたが、5月以降は持ち直し昨年度以上の出荷のある市場もあった。 			
事業費	予算額	3,670 千円	決算額	千円
R3 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること 			
事業費	予算額	3,670 千円	決算額	千円
事業費合計	予算合計	11,010 千円	決算合計	3,642 千円

12	事業名	[継続] 稲架木で地域農業活性化推進事業	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
区ビジョン	花のまち・食のまち・育てるまち		
事業目的	満願寺稲架木並木の下で昔ながらの米づくりを体験する機会を設け、ご飯を食べた時に満願寺の稲架木にかかった稲が思い浮かぶぐらいに、農業や食べ物への関心を高め、将来に渡って秋葉区に愛着を持って、農業者を応援したくなるきっかけをつくることで、地域農業の活性化を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手植えによる田植え体験の実施 ・ 手刈りによる稲刈り体験の実施 ・ 稲架木へのはさかけ体験の実施 ・ はさかけ米の成分分析を行い、科学的な根拠に基づいたおいしいお米のイメージづくりに寄与する可能性を探る 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の田植え体験 一般参加者数：150人 ・ 秋の稲刈り・はさかけ体験 一般参加者：150人 → 合計300人以上に参加いただく 		
R1 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の田植えイベント一般参加者150名 → 135名 ○ 秋の稲刈り・はさかけイベント一般参加者150名 → 185名 ◎ 合計300人以上の参加 → 320名 		
R1 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 田植え：5月12日(日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 手植え体験面積：15a、参加者数：135名 ○ 稲刈り・はさかけ体験：9月15日(日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 手刈り体験面積：10a、はさかけ体験：100m×両側=200m、参加者数：185名(薬科大7名含む) 		
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ R1達成率：106.7% (参加者合計：320名) ・ 予算を削減したうえで事業の実施方法を見直したが、目標を上回る結果となり、適切な再編であったと考える。 ・ また、庁内外に向けて取組の積極的な露出を図ったことで、 ”稲架木＝秋葉区＝おいしいお米のまち”のイメージづくりに寄与したと考える。 ・ R2に成分分析を行い、おいしさについての科学的根拠を得られないか、検証を行いたい。 		
事業費	予算額	700 千円	決算額 699 千円

次ページへ続く

12	事業名	[継続] 稲架木で地域農業活性化推進事業	
事業期間		令和 1 年度 ~ 令和 3 年度	
R2 年度 <2年目> 成果指標 目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の田植え体験 一般参加者数：150人 ・ 秋の稲刈り・はさかけ体験 一般参加者：150人 → 合計300人以上に参加いただく 	
R2 年度 <2年目> 9月末 実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度は、市報4月5日号等で参加者募集を行い、24世帯74人の参加申込があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止。 ○ 田植え：5月10日(日) → 中止 ○ 稲刈り・はさかけ体験：9月20日(日) → 中止 	
事業費		予算額 800 千円	決算額 千円
R3 年度 <3年目> 成果指標 目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の田植え体験 一般参加者数：150人 ・ 秋の稲刈り・はさかけ体験 一般参加者：150人 → 合計300人以上が目標 	
事業費		予算額 700 千円	決算額 千円
事業費合計		予算合計 2,200 千円	決算合計 699 千円

13	事業名	[継続] アキハもち麦推進事業	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	生み出し活かす まち		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業：地域の営農特性を踏まえ土地利用型作物を新たに産地化 ・ 健康：食生活の改善による健診データの改善 ・ 福祉：作物の栽培及びその加工を含めた就労先の確保 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦の販売量・消費量の増大 ・ 農業者が安心してもち麦栽培に取り組めるよう、区内産もち麦の取り扱い店舗数の拡大や、加工品等の商品開発に対して支援を行う。 ・ また、市が進める農業の12次産業化（農福連携）の実践モデルとして取組を支援し、その取り組み内容を区内外にPRする。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費動向に合わせた栽培（もち麦含め10ha） ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：20店舗 		
R2 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦の面積：10ha ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：15店舗 		
R2 年度 〈1年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦の栽培面積については10haを達成し、収穫済み。 ・ 区内産もち麦の取扱店舗数は飲食店のみならず、加工品の販売店舗および小売販売店舗を着実に伸ばしている。特に小売店舗については県下広い範囲へ拡大している。取扱店舗は15店舗以上となっているため成果指標を達成している。 		
事業費	予算額	1,000 千円	決算額 千円
R3 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費動向に合わせた栽培（もち麦含め10ha） ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：18店舗 		
事業費	予算額	1,350 千円	決算額 千円
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費動向に合わせた栽培（もち麦含め10ha） ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：20店舗 		
事業費	予算額	1,350 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,700 千円	決算合計 0 千円

14	事業名	[継続] 社会起業家発掘・養成事業	
事業期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度		
区ビジョン	生み出し活かす まち		
事業目的	秋葉区の地域資源を生かして起業する人材を育て、魅力的なビジネスを区内に生み出すと共に、「起業するなら秋葉区で」というメッセージを内外に発信する。		
事業概要	<p>対象： 秋葉区内外の若手起業希望者、定年退職後の起業希望者、副業としての起業希望者など</p> <p>内容： 1. 起業講座 起業のいろはからビジネスプラン作成、テストマーケティングなどを5~6回シリーズの講座として実施する。 2. 伴走支援 起業プラン作成後のフォローアップとして、メンターを配置し、悩みごとの相談や各所への紹介などを行う。</p>		
最終 成果指標 目標	社会起業家の育成と発掘		
R1 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	社会起業家育成関連講座を年度内に2回目開催		
R1 年度 〈1年目〉 実施状況	<p>社会起業家育成講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：「北九州家守舎」の主宰者を講師に招き先進地事例を紹介する講座を開催した。 【7/28実施：17名参加】 ・第2回：「Akihaイノベーション」として「起業のいろは」についての講座を開催した。 【2/12実施：15名参加】 		
2年目に向け 課題と解決に 向けた取組	<p>Akiha-Inovation年間を通じた講義（計6回）を開催。 起業のいろはから実践的な内容の講義を開催し、講義終了後にテストマーケティングを兼ねて「にいつハロウィン仮装まつり」に出店する。</p>		
事業費	予算額	840 千円	決算額 670 千円
R2 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	新型コロナウイルス感染症の影響により開催判断ができず、Webによる講義に切り替え実施も予定している。		
R2 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	Web講義を含めた講義を2回実施予定		
事業費	予算額	300 千円	決算額 千円
R3 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<p>コロナ禍の下、来るべきデジタル化社会を担う人材を育てるため、主に小中学生を対象としたプログラミング講習を実施する。開催案については、次のとおり。 『アキハキッズ：プログラミングサマースクール 未来を創るのはキミだ！（仮称）』 ○講師：新潟薬科大学応用生命学部教員（予定） ○スタッフ：学生の補助者（予定）</p>		
事業費	予算額	500 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,640 千円	決算合計 670 千円